



奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

1月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

新年を迎えて

～自ら考え行動し、笑顔とチャレンジ～

校長 岩崎 健治

あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。旧年中は、新型コロナウイルス感染症の影響の中、様々な教育活動の実施に際し、皆様のご理解とご協力を賜りましたこと誠にありがとうございました。

本年も学校教育目標「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」のもと、子どもたちの安全と安心、健康を第一に考え、今できることにチャレンジしながら、子どもたちの確かな成長をめざして、教職員一同全力で努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

今年も1月2日、3日に新春の風物詩、第98回箱根駅伝が行われました。結果は、青山学院大学が大会新記録となる10時間43分42秒のタイムで2年ぶり6度目の総合優勝を果たしました。総合優勝を果たした青山学院大学の原普監督の言葉には「学生一人ひとりが自覚、覚悟を持って箱根駅伝に向かってくれた結果が出た。」「本当に素晴らしい。カッコよかった。」と選手を褒めたたたえたものがたくさんありました。



《チューリップの芽が顔を出して》

また、「パワフル大作戦」と称し、走っている間にも「笑顔」「スマイル」などの言葉を学生達に投げかけていました。その後も、原普監督の話では「自分で考え行動する姿勢」を持つよう学生に話しているとか、「迷ったら攻める」「笑顔で襷（たすき）をわたす」などの話もあり、一つ一つの言葉が心に響きとても印象に残りました。

話にでてくる言葉が学校教育目標の「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」と「自ら考え、進んで行動する子」「互いに認め合い、高め合う子」「たくましく、共に生きる子」に繋がっていくように感じられました。

さて、6年生の卒業まで、残すところ3ヶ月となりました。学校におけるこの3ヶ月は、在校生が「6年生頼り」から脱却していく時期であるとも言えます。6年生には、奈良の丘小学校のリーダーとして、最後まで主体的に行動して力を発揮し「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」の目標を達成してほしいと思います。そして、これまで学校づくりのお手本として頑張っている6年生から「襷（たすき）」を受け取る在校生には、自ら考え行動し、笑顔とチャレンジを意識しながら残る3ヶ月を過ごしてほしいと願っています。